

公財 全高農 農場協会新聞

生徒の出番だ！
先生も頑張るぞ！

特集号

第4号

発行所
公益財団法人
全国学校農場協会
東京都渋谷区
円山町2-20

”生徒の出番だ“

第15回エッセイコンテスト

第7回和牛甲子園

第10回農業女子フォーラム

実践総合農学会 第16回

地方大会（山梨県北杜市）

第15回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト

第15回エッセイコンテスト

審査会が令和5年12月25日

に行われた。厳正な審査の

結果、応募総数17編の中から、

最優秀賞1編、優秀賞

3編、佳作3編が決定した。

◎最優秀賞

『「地域活性」を目指した
私の新商品開発』

長崎県立諫早農業高等学校

2年 神崎 真帆

○優秀賞

『食育で広がる地域の輪』

秋田県立大曲農業高等学校

3年 中嶋 啓羽

○優秀賞

『夢への道のり』

群馬県立利根実業高等学校

3年 大坪 由里奈

○優秀賞

『昭和村の農業で活躍する』

群馬県立利根実業高等学校

2年 吉澤 幸叶

・佳作

『リンゴの可能性』

東京都立農芸高等学校

3年 藤巻 百華

・佳作

『環境の問題を知って』

栃木県立宇都宮白楊高等学校

3年 大槻 遼真

・佳作

『始めの一步』

大阪府立水都国際高等学校

2年 小畠 薫子

第15回全国農業関係高等学校エッセイコンテスト 講評

「日本の農業の現実を知る

ことから」

日本農林文学会 会長

間山 三郎

日本の農業はどうなつて

いくのだろうか？と考えるこ

とが多い。農業と言っても

多種多様であり、一括りに

はできないが、高齢化社会、

結婚しない若者たちが増え、

出生率の低下による人口の

減少など、そのことだけか

ら考えてみても日本国に明

る未来などないのではな

いかという考えが浮かぶ。

農業のおかれています現実

は、他の産業に比べるとより

厳しい。だからと言って毎日

下を向いてばかりはいられ

ない。政治家や役人の皆さ

んより必死に考えている。

そして、このエッセイコン

テストには、若者たちの強

く明るい意志を見ることが

できるのです。この国も、

まだ大丈夫ではないかと。

最優秀賞に諫早高校の

（エッセイコンテストの常

連校）神崎真帆さんが選ば

れた。「そのぎ茶」と規格

外の野菜を混ぜ合わせて蒲

鉾を作った。その新しい蒲

鉾を地元の企業と連携し商

品化に成功。そればかりで

なく、お茶を加工するとき

に出る副産物を原料とし、

芳香剤としての利用も進め

ている。すべて地域の活性

化のためなのだ。偉いな。

優秀賞3篇。大曲農業高

校の中嶋啓羽さんは伝統野

菜「石橋ゴボウ」を栽培し、

食育の活動を実践。併せて

秋田県の特産品である米と

人類が直面する問題に答える。それが実学。

温暖化、資源枯渇、食料危機、絶滅危惧種の増加など研究対象は農学を起点に、
あなたが想像する以上に広がりを見せています。

このような問題に答えていく学びや研究を在学中に体験することを実学と呼んでいます。

人類が直面する問題に答えていく人材を世の中に選んでいくことが東京農大の普遍的な使命なのです。



東京農業大学
TOKYO UNIVERSITY OF
AGRICULTURE
〒156-8502東京都世田谷区船橋1-1-1
https://www.nodai.ac.jp/

農学部

応用生物科学部

生命科学部

地域環境科学部

国際食料情報学部

生物産業学部



てクッキーを完成させた。
今後「食育カフェ」で地域の輪を広げていく。

利根実業高校の吉澤幸叶さんは、住んでいる昭和村が高齢化による人手不足で農家は危機的状況にある。農家を継ぐためには、スマート農業を取り入れ、効率化を図ること。ドローンによる薬剤散布やGPSによる機械の自動運転などの利用。そのように日本の農業は進んでいくかもしれないが、忘れないでほしい。薬剤を使わない有機農法も選択肢の一つとしてあること。同じく利根実業高校の大坪由里菜さんの場合、先の3人とは違い、「パティシエ」に成りたくて、食品文化コースに入学したのだが、地域やリンゴ栽培をしている自分の家の現実を知っていくにつれて悩みます。私は悩むことがとても大切なことだと思います。悩んだすえに、違う道へ進んだとしても許されます。佳作作品については、紙面の都合により割愛させていただきます。

第7回 和牛甲子園

令和6年1月18、19日に、東京都港区（品川グランドホール）および東京食肉市場にて開催されました。参加校は、過去最多である合計25道府県41校が出場、出品頭数も過去最多で、59頭で前回大会から4頭増えました。

総合評価部門 【最優秀賞】



鹿児島県立鹿屋農業高等学校

取組評価部門 【最優秀賞】



岐阜県立加茂農林高等学校

〇優秀賞 2校

神奈川県立中央農業高等学校
鹿児島県立市来農芸高等学校

〇優良賞 3校

岐阜県立大垣養老高等学校
愛知県立渥美農業高等学校
宮崎県立高鍋農業高等学校

◇審査委員特別賞

鹿児島県立鹿屋農業高等学校
〇高校牛児特別賞

岐阜県立加茂農林高等学校

枝肉評価部門 【最優秀賞】

鹿児島県立鹿屋農業高等学校

〇優秀賞 2頭

福島県立会津農林高等学校
岐阜県立飛騨高山高等学校

〇優良賞 3頭

京都府立農芸高等学校
宮崎県立高鍋農業高等学校
鹿児島県立市来農芸高等学校

◇審査委員特別賞

栃木県立栃木農業高等学校

令和5年度 実践総合農学会連携シンポジウム

実践総合農学会第16回 地方大会（山梨県北杜市）

栃木県立那須拓陽高等学校

教諭 齋藤 恵美

令和5年11月12（日）に、

山梨県北杜市で開催された令和5年度実践総合農学会第16回地方大会の高校生による活動報告部門へ参加させていただきました。

〇発表内容

拓陽高校5学科の枠を越え、農業系3学科・普通科

・食物文化科の生徒が集まり、それぞれ学ぶ事を活かしながら、和食に欠かせない原料



となるが、自給率が著しく低いなど、大豆のおかれた状況を改善するために地域へと活動の場を拡げていきます。

【栽培分野】では収量や品質を上げるため、BIO理論を学びながら実践しました。また、作業の効率化を図る為に工業高校に粗選作業の機械化をお願いしました。

【加工分野】では栃木県内の食品加工業者を中心に協力いただき、豆腐や納豆、味噌、醤油を生産しました。

【販売分野】では地域のマルシェに工業高校や特別支援学校の生徒と共に出店し自分たちの製品を販売しました。



【学習・交流分野】拓陽高校生徒・職員全員で大豆を育てる「おうちでたねまき」を実施し、大豆の現状を周知し育てる楽しさを共有できました。また、特別支援学校の生徒とも大豆栽培を実施し、栽培した大豆は納豆にして食べてもらいました。

山梨県立農林高等学校

教諭 渡邊 一葉

〇発表内容について

本校では2020年に果実酒試験製造免許を取得し、「山梨ワイン発展のための協働と若手技術者の育成」をワイン醸造学習を中心としたワイン県やまなしの地域資源活用、地域活性化、新たな価値を創造する職業人材の育成を目指して「をテーマに、専門的な取組を行っ



ています。

具体的には

3 会場
とうほう・みんなの文化センター

ワイン製造

4 参加人数
(福島県文化センター)

ワイナリー

農業を学ぶ高校生及び学生、

での最新技

食農を学ぶ高校生及び学生、

術見学、ワ

一般農業者など 156名

インツリー

5 内容

ズムなどの

(1) 開会式

観光業に関

ア 主催者挨拶

する講演会、

公益財団法人全国学校農場

ツシヨン、

協会 理事長 日置 司明

得と「〇」化、

(体調不良による欠席にて

の実践などに

しおり配付)

地内には醸造

(2) 基調講演

場を備え、

福島大学食農学類農業経営

ワイン製造、

コース教授 原田 英美

流通の一連

演題：『地域から持続可能

に学べる教育

な農業の実現を』

ています。

(3) 実践発表

女子フォーラム

(4) パネルディスカッション

令和5年度第10回 全国農業

演題『農業女子の視点から

大会開催支部支部長 (福島

持続可能な農業の実現を考

県立福島明成高等学校)

える』

1 テーマ

ア コーディネーター

「地域から持

福島大学食農学類農業経営

の実現を」

コース 教授 原田 英美

2 日時

パネラーから農業高校農

令和5年12月

業大学で学んでいること

13日 (水)

や農業を目指すきっかけに

なったこと、農業に魅力を

感じていたりことやイメージと違っていたことをディスカッションしました。最後に、これからの具体的な目標や夢、皆さんへのエールを述べてもらいました。

令和6年度
全国高等学校農場協会
第73回全国大会
並びに研究協議会

6月13日(木)～6月14日(金)
星陵会館

(千代田区永田町予定)

令和6年度
全国高等学校農場協会
支部大会 《実施計画》

〔期日・会場・事務局校〕

第28回 北海道支部大会

7月25日(木)～7月26日(金)

とかちプラザ

帯広信用金庫セミナールーム

ホテルグランテラス帯広

北海道帯広農業高等学校

第22回 東北支部大会

8月8日(木)～8月9日(金)

福島グリーンパレス

福島県立福島明成高等学校

第73回 関東支部大会

8月20日(火)～8月21日(水)

ホテルニューイタヤ

栃木県立栃木農業高等学校

第48回 北信越支部大会

8月8日(木)～8月9日(金)

東尋坊温泉三國オーシャン

リゾート&ホテル

福井県立福井農林高等学校

第25回 近東支部大会

7月30日(火)～7月31日(水)

京都竹の郷温泉万葉の湯

ホテル京都エミナース

京都府立綾部高等学校

第71回 中国支部大会

8月21日(水)～8月22日(木)

セントコア山口

山口県立田布施農工農業

高等学校

第55回 四国支部大会

8月7日(水)～8月8日(木)

ホテルアネシス瀬戸大橋

香川県立笠田高等学校

第70回 九州支部大会

8月22日(木)～8月23日(金)

パシフィックホテル沖縄

沖縄県立中部農林高等学校

令和6年度第68回

農業実験実習講習会

受付 4月1日(月)

～6月1日(土)

《実施計画》

〔科目・会場・期日・事務局校〕

北海道地区

「栽培と環境」

帯広畜産大学

7月29日(月)～8月2日(金)

北海道帯広農業高等学校

令和6年度第10回 全国農業

女子フォーラム (福島大会)

大会開催支部支部長 (福島

県立福島明成高等学校)

吉田 克弘

内容「土壌診断の基礎・作物生育と科学性診断他」

東北地区

「農業と環境」

福島大学食農学類

8月19日(月)～8月23日(金)

福島県立福島明成高等学校

「動物組織や食品からの切片切り出し、染色・観察他」

関東地区

「食品化学・食品製造」

山梨大学生命環境学部

8月5日(月)～8月9日(金)

山梨県立北杜高等学校

『「ブドウとワイン」 「焼き菓子」 「栄養」 に関する講義と実習を行う』。

北信越地区

「農業と環境」

福井県立大学生物資源学部

創造農学科あわらキャンパス

8月19日(月)～8月23日(金)

福井県立福井農林高等学校

「ブランド化を目指した品種改良と育種技術の発展他」

近東地区

「農業と環境」

龍谷大学農学部

8月19日(月)～8月23日(金)

滋賀県立湖南農業高等学校

「植物病害の見分け方・防ぎ方他」

四国地区

「農業と環境」

愛媛大学農学部

8月5日(月)～8月9日(金)

愛媛県立上浮穴高等学校

「トマト果実発達の顕微鏡観察他」

* 農業技術研修会

九州地区

「農業機械・森林科学」

長崎県農林技術開発センター

一本所

畑作営農研究部門 (千拓営農研究室)

8月19日(月)～8月21日(水)

長崎県立諫早農業高等学校

「長崎農林技術センターにおける研究紹介、スマート農業概説、環境制御施設見学・研究概要説明他」

学・研究概要説明他」

念願の「産業教育手当」

一律10%支給に

大きく前進!

12月農教研「農林水産高校を応援する会」で農場協会重点要望事項に対して、文科省が回答

産業教育手当について

令和6年2月20日付け文部科学省初等中等教育局参

事官(高等学校担当)より、各都道府県教育委員会、公立高等学校給与主管課宛てに以下の文書が発信された。

『産業教育手当は、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)における農業、水産、工業(電波を含む。)又は商船に係る産業教育の特殊性にかんがみ、農業、水産、工業又は商船に係る産業教育に従事する公立の高等学校の教員及び実習助手に対する産業教育手当の支給に関する法律(昭和32年法律第165号)に基づき、支給されており、当該経費については、給料月額額の10%を普通交付税により措置してきているところ。』

本法律の第3条において、「地方自治法(昭和二十二年法律第六十七号)第二百四十二条第二項の規定により支給することができる産業教育手当は、公立の高等学校の教員及び実習助手のうち次に掲げる者を対象とするものとし、その内容は、条例で定める。」とされていることを踏まえ、各地方公

共団体におかれましては、産業教育手当について適切に対応いただきますよう、お願いいたします。』

以上の内容が、各都道府県教育委員会に対し、2月20日付けで文科省から発出された産業教育手当に関する事務連絡ですが、同日付で総務省からも事務連絡が送付されております。

このことは農場協会が長年、要望事項として国へ訴え続けてきた大きな成果と言えます。改めて諸先輩方・会員皆様のご努力に感謝を申し上げる次第です。

事務局より連絡

○第73回全国大会並びに研究協議会の大会資料費(昼食2食含む)は会場参加者は6千円、リモート参加者は2千5百円となります。出席参加票は4月5日までに提出をお願いします。資料代・出席の変更は4月14日までに提出してください。教育懇談会は全国町村会館で会費8千5百円です。

「食」「緑」「人」の分野のプロフェッショナルを育成

環境園芸学部
環境園芸学科
人間発達学部
子ども教育学科

健康栄養学部
管理栄養学科
食品開発科学科

南九州大学
MINAMI KYUSHU UNIVERSITY

